

講演会 企画展「ハンセン病文学の新生面『いのちの芽』の詩人たち」関連イベント



ハンセン病患者と文学者

はいかにハンセン病問題と関わったのか

● 2023年2月25日(土) 14:00～15:30 (13:30開場)

会場 国立ハンセン病資料館
映像ホール



にしむら みねたつ
講師 **西村 峰龍**氏 (文学研究者)

今回の講演会では、ハンセン病療養所の入所者と、外部の文学者との関係、そのなかで生み出された作品の意味などについて、文学研究の視点から語っていただきます。

講師プロフィール：1981生まれ。静岡文化芸術大学非常勤講師。専攻は日本近代文学、日本文化。博士論文「当事者が語るーハンセン病患者と文学者は如何にハンセン病問題と関わったのか」（名古屋大学、2016年）などがある。



お申込みは
こちらから

・事前申し込み制：定員70人（先着順）

・参加申し込み受付：2023年1月4日（水）正午12:00 開始

・お申込みは当館HPより <https://www.nhdm.jp/>

・本イベントは、動画のライブ配信はありません。

・本イベントは、予告なく変更・中止になる場合があります。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ：国立ハンセン病資料館

189-0002 東京都東村山市音葉町4-1-13 TEL 042-396-2909